

# カンタンサイネージ®



三菱液晶カラーテレビ

形名

ディーエスエム エル エックス

DSM-24L7X

ディーエスエム エル エックス

DSM-32L7X

ディーエスエム エル エックス

DSM-50L7X

ディーエスエム エル エックス

DSM-65L7X

## サイネージ取扱説明書

サイネージ機能についての取扱説明書です。

- ご使用前に、この取扱説明書および付属の取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
  - 保証書は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
  - 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保存してください。
  - 「カンタンサイネージ」は三菱電機株式会社の登録商標です。
- ※本機は、M-Signage、サイネージプレーヤー(セットトップボックスタイプ)に対応しています。

### 〈DSM-50L7X、DSM-65L7X〉

#### お知らせ

本機は、同梱の「かんたんガイド」に記載の外付ハードディスクへの録画機能はありません。

本書の端面で手などを傷つけないよう、ご注意ください。



# もくじ

サイネージ設定方法	P.4
・サイネージ設定を初期化する	P.5
・サイネージ設定項目	P.6
・再生順の設定方法	P.8
・プレイリストの新規作成・編集	P.10
テロップ表示方法	P.18
再生する静止画の切換を手動で行う	P.20
サイネージに対応したSDカード/データフォーマット	P.22
SDカードへデータを転送する	P.24
画質・音声設定	P.28
画面の調整や画面サイズの設定	P.30
入力信号の有無で電源を入/切する	P.31
オンタイマーで自動的に電源を入/切する	P.32
焼き付き軽減機能	P.34
カレンダー再生機能を使う	P.35
カウントアップ機能を使う	P.37
カウントダウン機能を使う	P.40
インタラクティブ機能を使う	P.42
SDカードの初期化	P.45
お手入れのしかた	P.46
SDカードを取り出すときは	P.47

Memo

# サイネージ設定方法

(SDカードに記録された静止画や

動画を自動リピート再生するための設定です。)



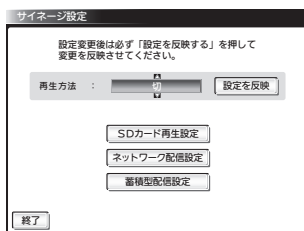
**準備** 自動リピート再生を行う静止画・動画ファイルが保存されているSDカードを挿入する。

※対応するSDカード、静止画・動画ファイル形式については [P.22](#)

## 1 テレビの電源を入れる

## 2 サイネージ を押す

サイネージ設定画面が表示されます。



再生方法が選ばれているのでそのまま **決定** を押し **▲▼** で「SDカード再生」を選んで **決定** を押す。

### お知らせ

- ・M-Signageを利用する場合は、再生方法を「蓄積型配信」に設定し、「蓄積型配信設定」でネットワークの設定を行ってください。
- ・「ネットワーク配信」「蓄積型配信」について詳しくは販売店またはテクニカルサポートセンター [P.48](#) へお問い合わせください。

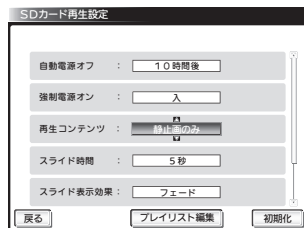
## 3 「SDカード再生設定」

を **▲▼** で選び

**決定** を押す

設定項目 [P.6~7](#) が表示されます。

**▲▼** で設定したい項目を選び **決定** を押す



## 4 ▲▼ で設定したいモードや数値を選び

**決定** を押す

- ・「再生コンテンツ」のプレイリストを新規作成または編集するには **▼** で「プレイリスト編集」を選び **決定** を押す。「プレイリスト編集」については、[P.10](#)

## 5 設定が終わったら **▼◀** で **戻る** を選んで **決定** を押す

前の画面に戻るので **▶▶** で **設定を反映** を選んで **決定** を押す

## 6 確認画面が表示されるので「はい」を選んで **決定** を押す

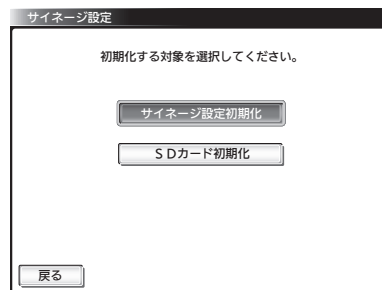
テレビが再起動し、設定した自動リピート再生が開始されます。

### お知らせ

- ・SDカード再生の基本的な操作や性能については、取扱説明書 [P.64~67](#) をご覧ください。
- ・取扱説明書 [P.104](#) の一発録画はできません。

## サイネージ設定を初期化する

## 1 ▲▼◀▶ で **初期化** を選んで **決定** を押し「初期化対象選択画面」を表示する



## 2 「サイネージ設定初期化」が選ばれているので **決定** を押す

## 3 サイネージ設定画面に戻る

サイネージ設定画面で設定したすべての設定が初期化され、再生方法が切に戻ります。動画再生順設定、静止画再生設定で設定した内容は保持されます。

# サインージ設定方法(つづき)

## サインージ設定項目

### ●「自動電源オフ」

サインージ開始時から再生を終了し、電源をオフにする時間を設定します。

連続 ----- 自動オフを設定しない

1～23時間後 ----- オンにしてから何時間でオフにするかを  
1時間単位で設定する

### ●「強制電源オン」

電源コードを差して電源を入れたときに常に電源「入」になるか否かを設定します。

入 ----- 必ず電源オンで起動する

切 ----- 強制電源オンを設定しない

### ●「再生コンテンツ」

再生するコンテンツを設定します。

静止画のみ ----- SDカード内の静止画のみを再生する

動画のみ ----- SDカード内の動画のみを再生する

静止画と動画 ----- SDカード内の再生できるコンテンツをすべて再生する

プレイリスト①～⑯ --- あらかじめ設定したプレイリストの内容に応じて再生する  
プレイリストの設定方法は

※「静止画のみ」「動画のみ」は再生順を設定できます。

「静止画と動画」は動画、静止画に関わらずファイル名順固定で再生されます。

例えば、ファイル名の1文字目を数字にするとその数字の昇順に再生されます。

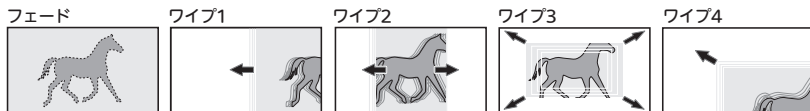
### ●「スライド時間」

静止画再生時の画像更新間隔を設定します。

5、10、15、20、30、45、60、90、120秒 --- 静止画が切り換わる時間を設定する

### ●「スライド表示効果」 写真一覧表示中にメニューからも設定できます。

画像が切り換わるときの効果を設定します。



### ●「テロップ表示」

画面の上下左右端のいずれか1か所に、SDカード直下に保存した文字列を流すことができます。

入 ----- テロップ表示をする

切 ----- テロップ表示をしない



●「入」で **詳細設定** が表示されます。

**詳細設定** を選び **決定** を押す

→「テロップ表示詳細設定」画面が表示されます。

「テロップ表示詳細設定」については、**P.19**

●再生コンテンツが「静止画のみ」「動画のみ」「静止画と動画」のとき **字幕** ボタンで設定できます。  
**P.20**

### ●「USBフォルダ名」

USBフォルダ名については、**P.26**

### ●「USB自動転送」

USB端子からSDカード内へのデータ転送を自動で行います。

SDカードへのデータ転送については、**P.26**

入：追記転送

入：消去して転送

切 ----- 自動転送機能を切りにする

### ●「設置方法」

[DSM-32L7X、DSM-50L7X、DSM-65L7Xのみ対応]

テレビ本体の設置方法を設定します。画面の表示が設定に応じた向きになります。

横置き ----- 画面下側にスピーカーがある状態で設置するとき

縦置き ----- 画面左側にスピーカーがある状態で設置するとき

※「縦置き」設置する場合は、表示コンテンツを横1080dots×縦1920dotsとなるように作成する必要があります。

# サイネージ設定方法(つづき)



## 再生順の設定方法

「再生コンテンツ」を「静止画のみ」および「動画のみ」に設定した場合の再生順を設定する方法です。

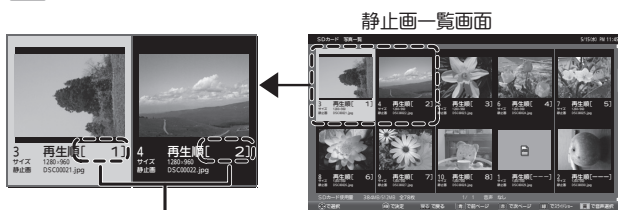
**準備** P.4~5のサイネージ設定を行い自動リピート再生を始める。

### 「静止画のみ」で再生する場合

#### 1 戻るを押す

写真一覧が表示されます。

#### 2 ▲▼◀▶で再生順を設定する静止画を選ぶ



この部分に再生する順番が表示されます。

#### 3 チャンネル へ▼で再生したい順番に数字を選ぶ

[---] (設定なし) から へを押すと [ 1][ 2]…[999]、▼を押すと [999][998]…[ 1]と切り換わります。

- 再生したいすべての静止画に数字を振ってください。再生順を設定すると[---]の静止画は再生されません。
- 上記[999]は、実際はSDカード内の再生可能なファイル数となります。本機は最大999ファイル再生できます。

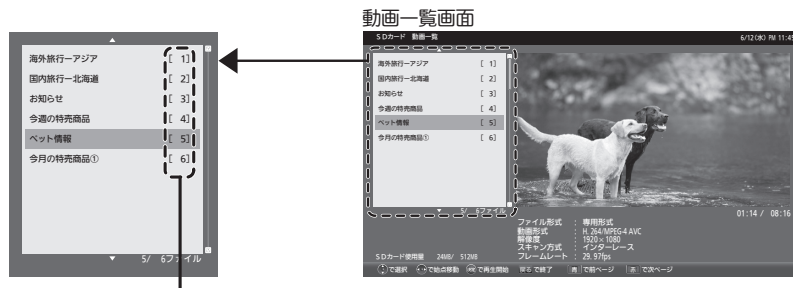
#### 4 緑 を押し、自動リピート再生に戻る

### 「動画のみ」で再生する場合

#### 1 戻るを押す

動画一覧が表示されます。

#### 2 ▲▼で再生順を設定する動画を選ぶ



この部分に再生する順番が表示されます。

#### 3 チャンネル へ▼で再生したい順番に数字を選ぶ

[---] (設定なし) から へを押すと [ 1][ 2]…[99]、▼を押すと [99][98]…[ 1]と切り換わります。

- 再生したいすべての動画に数字を振ってください。再生順を設定すると[---]の動画は再生されません。

#### 4 決定 を押し、自動リピート再生に戻る

Memo

# サイネージ設定方法(つづき)



## プレイリストの新規作成・編集

サイネージ  
 →「SDカード再生設定」→「プレイリスト編集」の順に選び  
 「プレイリスト編集」画面を表示する。

SDカード内のデータ容量

選択しているコンテンツの内容

選択しているコンテンツの情報

プレイリスト内に共通する設定  
設定済の項目に青いマーク

連動画像があるとき

再生時間

連動音声設定があるとき

選択しているコンテンツの再生順とコンテンツ数

プレイリスト編集で次のことが設定できます。

- ・テレビに表示するコンテンツの登録、削除。再生順、再生する時間(長さ)を設定する。
- ・表示に合わせて再生する音声ファイルを設定する。
- ・コンテンツに連動画像を追加する。連動画像の位置を設定する。
- ・テロップにするテキストファイルを選択し、表示効果を設定する。
- ・静止画を切り換えるときの効果を設定する。
- ・表示を行う曜日・時刻を設定する。

設定内容を「プレビュー」で確認できます。

編集が終わったら「終了」を選んで「決定」を押し

「SDカード再生設定」画面に戻る。

## コンテンツの追加とコンテンツごとの設定

1 「プレイリスト編集」画面を表示し、設定したいプレイリストを◀▶で選ぶ  
 ・初めて設定するときは「プレイリスト①」しか選べません。

2 「+コンテンツ追加」で「決定」を押し「コンテンツ追加」画面を表示する

◀▶でタブを選び、▲▼で追加したいデータを選んで「決定」を押しコンテンツを追加登録する。

登録をやめるには「黄」を押す。

- ・コンテンツは最大30件まで登録できます。右上に登録数が表示されます。
- ・データ名の横に再生順が表示されます。再生順は後から変えられます。

3 追加が終わったら「静止画」タブに戻り、「戻る」を選んで「決定」を押し「プレイリスト編集」画面に戻る

## コンテンツの再生順や再生時間の長さを変えたり、コンテンツを削除するとき

※動画の再生時間は設定できません。

4 ▲▼でコンテンツを選び「決定」を押し「コンテンツ詳細設定」画面を表示する

### ■ 再生順、再生時間

設定したい項目を◀▶で選び「決定」を押し。

▲▼で設定し、「決定」を押し。

「戻る」を選んで「決定」を押し「プレイリスト編集」画面に戻る。

### ■ コンテンツの削除

「プレイリストから削除」を選んで「決定」を押し。

確認画面があるので「はい」を選んで「決定」を押し、「プレイリスト編集」画面に戻る。

5 「終了」を選んで「決定」を押し設定内容を保存する

# サイネージ設定方法(つづき)

## コンテンツに音声ファイルを指定して再生するとき

指定できるのは、静止画と外部入力です。

指定されたコンテンツの表示時間は音声ファイルの再生が終わるまでとなります。

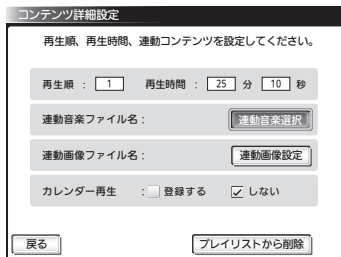
再生できる音声ファイル形式は、『mp3』のみです。

- ・サイズの小さい音声ファイル(目安:4KB以下)は再生できない場合があります。
- ・音声変換ソフトによっては正常に再生できない場合があります。

**準備** 再生したい音声ファイルをSDカード直下に保存する。

**1** 「プレイリスト編集」画面を表示し、設定したいプレイリストを◀▶で選ぶ  
・コンテンツが登録されていないプレイリストにこの設定はできません。

**2** ▲▼でコンテンツを選び**決定**を押し  
「コンテンツ詳細設定」画面を表示する



**3** **連動音楽選択**を選んで**決定**を押し  
「音楽選択」画面を表示する

▲▼で再生したい音声ファイルを選び  
**決定**を押し

カーソルを当てると音声ファイルが再生されるので、  
内容を確認しながらファイルを選べます。



**4** 各画面の**戻る**を選んで**決定**を押し「プレイリスト編集」画面に戻る

## コンテンツに連動画像を追加する

コンテンツ上に画像を1つ重ねて(連動画像)、スタンプのような表示ができます。

連動画像を追加できるのは、静止画、動画、外部入力です。

連動画像として使用できるファイル形式は、『.JPEG』『.JPG』『.PNG』『.jpeg』『.jpg』『.png』です。

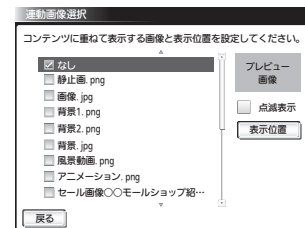
**準備** 再生したい画像ファイルをSDカード直下に保存する。

**1** 「プレイリスト編集」画面を表示し、設定したいプレイリストを◀▶で選ぶ  
・コンテンツが登録されていないプレイリストにこの設定はできません。

**2** ▲▼でコンテンツを選び**決定**を押し「コンテンツ詳細設定」画面を表示する

**3** **連動画像選択**を選んで**決定**を押し  
「連動画像選択」画面を表示する

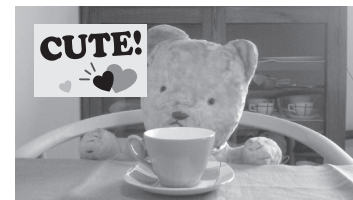
▲▼で再生したい画像ファイルを選び**決定**を押し



**4** **表示位置**を選んで**決定**を押し表示位置  
の調整画面を表示し、▲▼◀▶で  
画面を見ながら位置を調整する

・「設置方法」が「横置き」のとき、連動画像の左上に  
位置情報があるので参考にしてください。

・連動画像を拡大/縮小したいときは、**青**(拡大)、**赤**(縮小)を押します。



**5** 位置が決まったら**決定**を押し前の画面に戻る

**6** 連動画像を点滅表示する場合は、「点滅表示」にチェックを入れる

**7** 各画面の**戻る**を選んで**決定**を押し「プレイリスト編集」画面に戻る

## お願い!

連動画像は表示できる色数が少ないため、色数を減らして表示されることがあります。元のデータより画像が粗く見えたりグラデーションが再現できない場合があります。本機に実際に表示された画像を確かめるようにしてください。

# サイネージ設定方法(つづき)

## プレイリストごとの設定

プレイリストごとに音声再生、テロップ再生、画面切り換え効果を設定できます。同一プレイリスト内のコンテンツに共通して実施されます。

### 音声ファイルを再生する

1つ音声ファイルをリピート再生します。

再生できる音声ファイル形式は、『mp3』のみです。

- ・サイズの小さい音声ファイル(目安:4KB以下)は再生できない場合があります。
- ・音声変換ソフトによっては正常に再生できない場合があります。

静止画と外部入力映像再生時に有効です。

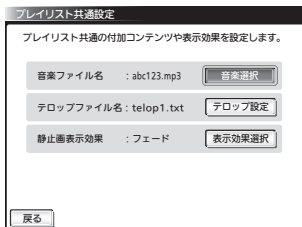
プレイリストに動画や放送を登録している場合、その画像を表示している間、指定した音声は再生されません。

プレイリスト内のコンテンツに1つでも音声ファイルを指定すると、この設定は解除されます。

**準備** 再生したい音声ファイルをSDカード直下に保存する。

**1** 「プレイリスト編集」画面を表示し、設定したいプレイリストを◀▶で選ぶ  
・コンテンツが登録されていないプレイリストにこの設定はできません。

**2** 「設定編集」を選んで決定を押して  
「プレイリスト共通設定」画面を表示する



**3** 「音楽選択」を選んで決定を押して  
「音楽選択」画面を表示する

▲▼で再生したい音声ファイルを選び  
決定を押す

カーソルを当てると音声ファイルが再生されるので、内容を確認しながらファイルを選べます。



**4** 各画面の「戻る」を選んで決定を押して「プレイリスト編集」画面に戻る

## テロップを設定する

**準備** テロップ表示したい文字データファイルをSDカード直下に保存する。  
・文字データについて詳しくは P.18

**1** 「プレイリスト編集」画面を表示し、設定したいプレイリストを◀▶で選ぶ  
・コンテンツが登録されていないプレイリストにこの設定はできません。

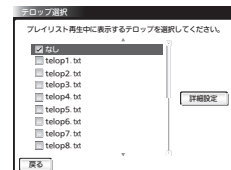
**2** 「設定編集」を選んで決定を押して  
「プレイリスト共通設定」画面を表示する



**3** 「テロップ設定」を選んで決定を押して「テロップ選択」画面を表示する

▲▼でテロップにするテキストファイルを選び決定を押す

「詳細設定」でテロップの表示位置や文字が流れる速度、文字や背景色、効果などの設定ができます。P.19

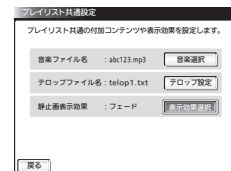


**4** 各画面の「戻る」を選んで決定を押して「プレイリスト編集」画面に戻る

## 静止画切り換えの効果を設定する

**1** 「プレイリスト編集」画面を表示し、設定したいプレイリストを◀▶で選ぶ  
・コンテンツが登録されていないプレイリストにこの設定はできません。

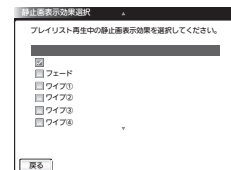
**2** 「設定編集」を選んで決定を押して  
「プレイリスト共通設定」画面を表示する



**3** 「表示効果設定」を選んで決定を押して  
「静止画表示効果選択」画面を表示する

▲▼で表示効果を選び決定を押す

効果の内容については P.6  
※この設定は静止画にのみ有効です。



**4** 各画面の「戻る」を選んで決定を押して「プレイリスト編集」画面に戻る



# サイネージ設定方法(つづき)

## プレイリストを再生する曜日・時刻を設定する(スケジュール再生)

スケジュール再生機能を使うには、テレビに時刻情報が取り込まれている必要があります。

**準備** デジタル放送を受信するか、別売の時刻保持ユニット(DP-5RTC-A)と接続する。

- 1 「プレイリスト編集」画面を表示 **P.10** し、**スケジュール設定** を選んで **決定** を押す

- 2 「スケジュール編集」画面が開くので「スケジュール再生設定」の「有効」を選び **決定** を押す

スケジュールの編集ができるようになります。

- ・スケジュール再生設定後、「無効」を選び **決定** を押すと一時的にスケジュール再生を無効にすることができます。設定内容は保持されます。



- 3 設定したい曜日を **決定** を押す

- 4 曜日ごとの「スケジュール設定」画面が開くので各項目を設定する

- ・電源制御  
常時オフ : プレイリストの再生が終わるとテレビの電源が「切」になる。  
オン時刻設定 : 設定した開始時刻/終了時刻にテレビ電源が「入」「切」される。

- ・スケジュール1~4  
再生したいプレイリストを選び、再生開始時刻を24時間制で指定する。

- ・他の曜日へのコピー  
設定した内容を適用したい曜日で **決定** を押す。  
チェックが入った曜日すべてに同一の設定内容がコピーされます。

### お知らせ

- 各スケジュールの終了時刻は設定できません。  
各スケジュールを間隔をあけて再生することはできません。

- 5 **戻る** を選んで **決定** を押し「プレイリスト編集」画面に戻る

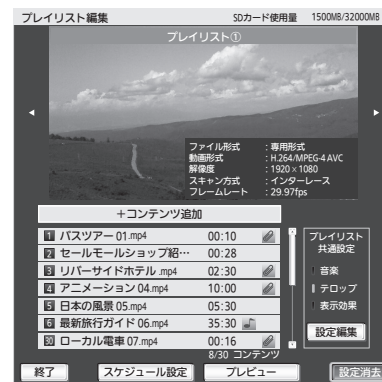
- ・他の曜日を設定するときは **3** ~ **5** を繰り返します。

## プレイリストを削除する

- 1 「プレイリスト編集」画面を表示 **P.10** し、削除したいプレイリストを **◀▶** で選ぶ

- 2 **設定消去** を選んで **決定** を押す

登録したコンテンツが消え、プレイリスト共通設定は解除され、設定状態が新規になります。



- 3 **終了** を選んで **決定** を押し設定を保存する

新しくプレイリストを作成する場合は、削除したプレイリストに割り振られます。

①~③までプレイリストがあり、②を削除した場合、次の新規プレイリストは②になります。

# テロップ表示方法



## 動画、静止画にテロップ表示をするとき

画面の上下左右端のいずれか1か所に、文字列を繰り返し流すことができます。

表示位置 …………… 描画領域上下左右端のいずれか1か所  
(表示領域は画像の上に重ねて表示されます。)

文字移動方向 …………… 上下端表示の時 右から左へ  
左右端表示の時 下から上へ

表示領域の大きさ …………… 高さ: 100px  
(画面短辺の約1/10程度、長辺の約1/20程度)  
※大きさの変更はできません  
表示は一行

文字-フォント …………… ヒラギノUDフォント(フォントは選べません)

文字数 …………… 全角100文字まで

文字種類 …………… 機種依存文字は、①~⑳、I~X以外は使用できません(☒と表示されますのでご注意ください)

色-文字/背景 …………… 7色のなかから選択可能

ファイル名は、

「静止画のみ」「動画のみ」「静止画と動画」のとき

半角で『telop.txt』とします。他のファイル名では表示しません。

「プレイリスト①~⑱」のとき

半角で“telop”から始まる必要があります。拡張子は『.txt』のみ。

例:『telop\*.txt』

**準備** テロップ表示したい文字データファイルをSDカード直下に保存する。

## テロップ表示設定

■ 動画、静止画を表示中に **字幕** を押す

テロップ表示	押すごとに、文字の流れる早さと設定「切」が切り換わります。
入: 高速	
<input checked="" type="checkbox"/> 入: 標準	※「再生コンテンツ」を「プレイリスト①~⑱」に設定したときは使用できません。
入: 低速	
切	

■ サイネージ → 「SDカード再生設定」を選び「SDカード再生設定」画面を表示し、▼で「テロップ表示」を選び **決定** を押す  
▼で「入」を選び **決定** を押す

表示速度他は次ページの「テロップ表示詳細設定」で設定します。

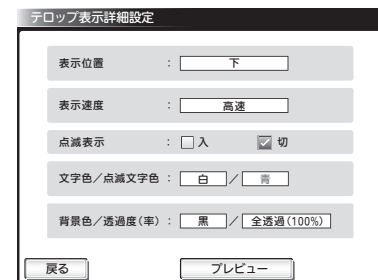
## テロップ表示詳細設定

文字に色、点滅、背景等を詳細に設定することができます。

1 「SDカード再生設定」画面を表示する

2 ▶▼で「テロップ表示」の **詳細設定** を選んで **決定** を押す

テロップ表示詳細設定画面が表示されます。



表示位置 …………… 下、上、左、右から選択できます。

表示速度 …………… 高速、標準、低速から選択できます。

点滅表示 …………… 入/切

文字色 …………… 白、黒、グレー、青、赤、緑、黄から選択できます。

点滅文字色 …………… 点滅表示「入」にすると設定できます。  
白、黒、グレー、青、赤、緑、黄から選択できます。

背景色 …………… 白、黒、グレー、青、赤、緑、黄から選択できます。

透過度(率) …………… 不透過(0%)、半透過(25%)、半透過(50%)、半透過(75%)、全透過(100%)から選択できます。

3 ●点滅表示以外  
▲▼▶で設定したい項目を選び **決定** を押し、▲▼で設定したい内容を選び **決定** を押す

●点滅表示  
◀▶で設定したい方を選び **決定** を押す

■ 設定した内容でテロップがどう表示されるか確認するには **プレビュー** を選んで **決定** を押す

プレビュー画面が表示されます。

●「再生コンテンツ」を「静止画のみ」「動画のみ」「静止画と動画」に設定したときはプレビュー中に **字幕** を押すとテロップ速度が確認できます。

**戻る** を押すとプレビューが終了し、「テロップ表示詳細設定」画面に戻ります。

# 再生する静止画の切換を手動で行う



静止画の切り換えを手動で行うことで、プレゼンテーションのような再生ができます。

- 自動リピート再生をつづけながら  
「再生コンテンツ」を「静止画のみ」に設定し、自動リピート再生を行っているとき、

## 1 最初に表示したい静止画が表示されたとき

**青** を押す

自動リピート再生が停止します。

## 2 次に表示させたい静止画まで ◀▶ で切り換える

## 3 **青** を押し自動再生を停止する

## 4 2～3を繰り返す

## 5 自動リピート再生を再開したい静止画まで

◀▶ で切り換える

自動リピート再生が始まります。

・静止画の切り換えを行うと自動リピート再生が始まりますので

**青** を必ず押してください。

## ■ 自動リピート再生を中断して

「再生コンテンツ」を「静止画のみ」に設定し、自動リピート再生を行っているとき、

## 1 **戻る** を押す

写真一覧が表示されます。

## 2 最初に表示させたい静止画を ▲▼◀▶ で選び **決定** を押す

選んだ静止画が表示されます。

## 3 次に表示させたい静止画まで ◀▶ で切り換える

## 4 3を繰り返す

## 5 ●任意の静止画から自動リピート再生を再開するには、**戻る** を押し写真一覧を表示し、自動リピート再生を再開したい静止画を選び、**緑** を押す

●自動リピート再生で設定している最初の静止画から再開するには、**戻る** を押し写真一覧を表示する。さらに **戻る** を押しテレビ画面に戻り、**SD再生** を押す

自動リピート再生が始まります。

## お知らせ

- ・「再生コンテンツ」を「静止画のみ」以外に設定しているときは、コンテンツを手動で切り換えることはできません。
- ・テロップ再生を行っている場合はそのまま再生されます。

# サイネージに対応したSDカード/データフォーマット

## ● 使用可能なSDカードならびにフォーマット

項目	条件	備考
カード種類	SDカード(~2GB)、SDHCカード(~32GB) ※マイクロSDおよびミニSDは、アダプタ装着により利用可能。	SDXCカードは非対応。 ファイルシステムは「FAT32」「FAT16」に対応。 「NTFS」には非対応。
スピードクラス (AVCHD再生)	クラス4以上 (規格最大24Mbpsまで可)	
スピードクラス (静止画再生)	クラス2以上	
動作確認メーカー※	パナソニック、東芝、SanDisk	各スピードクラス(クラス4以上)の代表的なSDHCカードで確認。

※SDカードによっては再生できない場合があります。

※SDカードの品質が高いほど、安定した映像再生を行えるため、クラス8以上のSDカードを推奨します。

## ● 再生できる動画データ

- ディレクトリ構成も動画ファイル自体も「AVCHD」フォーマットを準拠したファイル
- H.264/MPEG-4 AVC形式で作成した単体動画ファイル (拡張子: .MTS、.M2TS、.M2T、.mts、.m2ts、.m2t) 音声形式はAC-3 (Dolby Digital)
- H.264/MPEG-4 AVC形式で作成した単体動画ファイル (拡張子: .MP4、.M4V、.mp4、.m4v) 音声形式はAAC-LC  
※1本の動画の長さは1時間以内を目安にしてください。  
1時間を越えると再生されない可能性があります。
- WMV9形式で作成した単体動画ファイル (拡張子: .WMV、.wmv) 音声形式はWMA ※WMA Professional、WMA Losslessは非対応
- 音声は サンプル周波数48kHz (推奨) ビットレート32k~640kbps (動作確認済)
- フレームレートは 1920×1080.....60i/25p/50i/24p 1440×1080.....60i/25p/50i/24p 1280×720.....60p 720×480.....60i

※動画ファイルはSDカード直下以外への保存では再生できません。

## ● 再生できる静止画データ

- 拡張子: .JPEG、.JPG、.jpeg、.jpg を持つ、Exif 2.1準拠のJPEG圧縮データだけが再生できます。
- カラーモードがRGBモードのみ再生できます。
- 画像サイズ 1920×1080px、ファイルサイズ 8MB以下を推奨します。
- 記録状態によっては、正常に再生できないことがあります。
- プログレッシブ形式のJPEGファイルは再生できません。
- Motion JPEGには対応していません。

### 静止画データに関するお知らせ

- 再生するファイルの格納は、**SDカードの直下に保存**してください。SDカード内に作られたフォルダ内に格納されたファイルは再生できません。
- 静止画再生の再生順序の設定について 一覧にはファイル名の数字、アルファベットの若い順に表示され、一覧の上から順に再生されます。→ファイル名の先頭を00~999の数値にすると、再生順序を簡単に設定することができます。
- 一覧のファイル名は、半角で8文字まで表示されます。
- 画素数の小さなファイルを再生した場合は、拡大して表示されます。

### 動画データに関するお知らせ

動画データをカンタンサイネージでスムーズに再生頂くために、動作作成時の設定として、下記を推奨致します。

- 平均ビットレートは、10Mbps以下を推奨します。平均ビットレートが15Mbps以上になると画面乱れや、映像のカクつきなどが発生しやすくなります。
- 固定ビットレート (CBR) での作成を推奨します。可変ビットレート (VBR) で作成された場合、映像のカクつきなどが発生しやすくなります。

### 無線LANカードを使用する場合のファイル名

無線LANカードについては [P.27](#)

- ファイル名に全角を使用するとブラウザによっては文字化けが発生し、送信できない場合があります。ファイル名は半角英数字のご使用をおすすめします。
- ファイル名に半角カタカナ、半角スペースが使われているファイルは、送信できません。送信操作後、管理画面に表示されません。

無線LANカードには、DSM-50L7X、DSM-65L7Xのみ対応。

# SDカードへデータを転送する

サービス用のUSB端子を使って、USBメモリなどの記録媒体(メディア)から、本機に挿入済みのSDカードへデータを転送することができます。

※データの転送を開始するとSDカード内のデータはすべて消去されますのでご注意ください。

※「サイネージ設定」画面の「再生方法」**P.4**を「SDカード再生」に設定したときに有効な機能です。

※ファイルシステムは「FAT16」「FAT32」のみ対応しています。

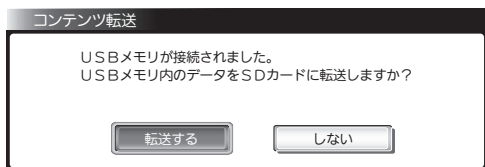
※SDカードを本機から取り出さずに「FAT32」に初期化できます。**P.45**

**準備** 転送するデータは、転送元メディア直下にフォルダ「MITSUBISHI\_REAL」を作りまとめて保存しておきます。

※転送元フォルダ名を「MITSUBISHI\_REAL」から変更する場合は、「サイネージ設定」の「USBフォルダ名」**P.26**を使って、変更するフォルダ名をテレビ側に登録しておく必要があります。

## 1 サービス用のUSB端子にUSBメモリを差す

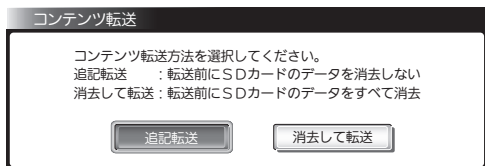
接続確認画面が表示されます。



・転送元となるフォルダがないときは、転送元フォルダを作成する画面が表示されます。

## 2 「転送する」が選ばれているので、**決定**を押す

転送方法確認画面が表示されます。



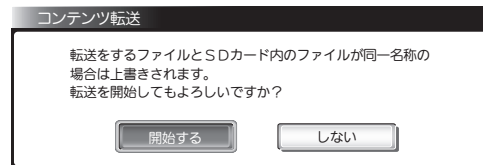
追記転送 …… SDカードのデータを消去せず、追記します。  
同じファイル名のデータは、日付などは判断せずUSB端子からのデータを必ず上書きします。

消去して転送 …… SDカードのデータをすべて消去したあと、USB端子からのデータを書き込む。

## 3 ◀▶で転送方法を選び**決定**を押す

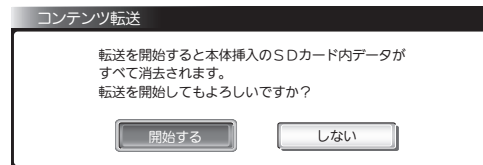
### 追記転送

確認画面が表示され **開始する** を選んで **決定** を押す。



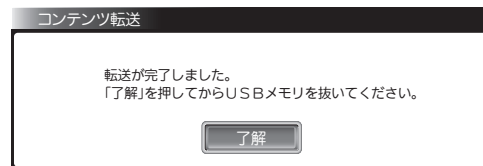
### 消去して転送

確認画面が表示され **開始する** を選んで **決定** を押す。



- ・SDカード内のデータをすべて消去し、SDカード直下にフォルダ「MITSUBISHI\_REAL」内のデータをすべて転送します。
- ・動画などデータ容量が大きい場合は、転送に数分掛かることがあります。
- ・転送中はUSBメモリを抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。

転送が正常に終了すると転送完了画面が表示されます。



## 4 「了解」が選ばれているので**決定**を押す

USBメモリを差す前の画面に戻ります。

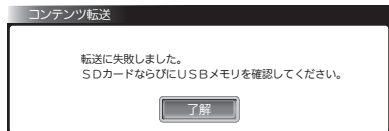
- ・画像再生中だった場合は、転送されたデータが再生されます。

# SDカードへデータを転送する(つづき)

## 5 メディアをサービス用端子から抜く

必要に応じ、再生順や音声ファイルの指定をやり直してください。

※転送が正常に終了しなかった場合



「了解」が選ばれているので、**決定**を押してメッセージ画面を消し、メディアを差しなおしてSDカードが正しく挿入されているか確認してから、もう一度手順1からやり直してください。

改善しない場合、本体電源ボタンで電源を切/入するか、リモコンで電源を切り、1分程度たってから再度電源を入れるか、または電源プラグをコンセントから抜き差しして、もう一度手順1からやり直してください。

それでも改善しない場合は、本誌最終ページに記載の「テクニカルセンター」にお問い合わせください。

### お知らせ

- データ転送には、USB2.0に準拠したサービス用USB端子に接続可能なメディアをご使用ください。
- カードリーダーなどを経由しての接続も可能です。

### USB端子にメディアを挿入するだけでデータ転送をするには

リモコンなしで転送ができて便利です。

## 1 **サイン**を押してサインページ設定画面を表示する

## 2 ▼で「USB自動転送」を選んで**決定**を押す

## 3 ▲▼で転送する方法を選び**決定**を押す

### 転送元のフォルダ名を変更するには

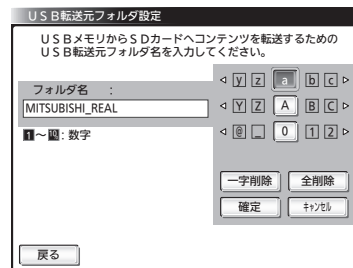
転送元メディアのフォルダ名をテレビ側から登録し変更することができます。

## 1 **サイン**→「SDカード再生設定」を選び「SDカード再生設定」画面を表示する

## 2 ▼▶で「USBフォルダ名」の **設定** を選んで**決定**を押す

## 3 「フォルダ名」が選択されているので**決定**を押す

フォルダ名を入力します。



① ▲▼で「ローマ字(小文字)」「ローマ字(大文字)」「数字/記号」を選ぶ

② ◀▶で文字(数字)を選び**決定**を押す

- ①～②を繰り返して入力します。
- 数字は **1**～**10**の数字ボタンでも入力できます。
- 間違えたときは ▲▼◀▶で「一字削除」または「全削除」を選び**決定**を押して入力し直してください。

### お知らせ

- 設定できる文字列数は、半角英数、記号(上記入力画面に表示される文字のみ)
- 文字数は30文字まで。

### 無線LANを利用し、通信端末でデータの管理をするには

[DSM-50L7X、DSM-65L7Xのみ対応]

SDカードに換えて、無線LANカード FBCSW008A-M(別売)を使用することにより、通信端末から無線で、データの追加・削除・再生順設定を行うことができます。

※無線LANカードによるデータ管理と他の管理方法は併用できません。ご注意ください。

## 1 無線LANカードを本機のSDカード挿入口に差し込む

・正しい方向にカチッと音がするまで差し込んでください。

## 2 通信端末で無線LANカードとの接続、データ管理操作を行う

通信端末上でのファイル管理操作は、「ファイル管理画面」で行います。

「ファイル管理画面」の詳細な操作については、下記URL記載の操作ガイド(取扱説明書)をご覧ください。

<http://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/ja/products/visual/lineup/signage/index.html>

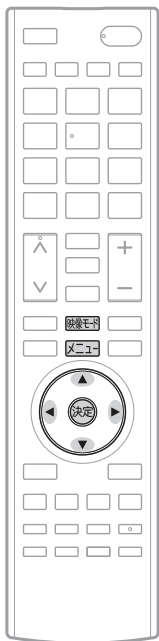
右記のQRコードからもアクセスできます。



### お知らせ

無線LANカードは同梱の取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。

- 無線LANカードについてのお問い合わせ先  
テクニカルサポートセンター P.48 ▶



## 静止画再生中の画質・音声設定

静止画を全画面表示中に、画質と音声の設定ができます。

1 静止画を全画面表示中に **メニュー** を押す

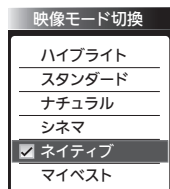
2 「今すぐできること」を選び **決定** を押す

「画質設定」については取扱説明書の **P.116**、「音声設定」については、**P.123** をご覧ください。

## ネイティブモードの設定

画面をより明るく表示したいときに選びます。

■ 動画を表示中に **映像モード** を押す



押すごとに表示設定が切り換わります。「ネイティブ」モードを選び **決定** を押します。

で項目を選び **決定** を押しても切り換わります。

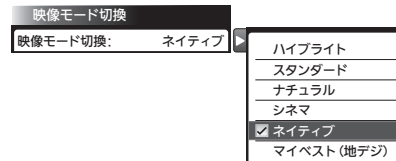
メニューから設定する場合

1 **メニュー** を押す

「設定」→「画質設定」→「映像モード切替」を選び **決定** を押す

2 ▲▼ で「ネイティブ」を選び **決定** を押す

HDMI入力するとき、その他



PC入力するとき



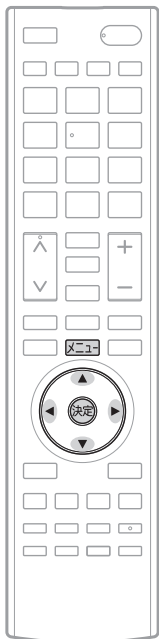
● ネイティブモードでの画質設定項目

- ・「シャープネス」「プロ調整」の設定はできません。
- ・色温度の調整項目は赤色、緑色、青色になります。



その他の画質調整の調整項目については、取扱説明書の **P.118** をご覧ください。

# 画面の調整や画面サイズの設定



画面サイズや水平/垂直位置を詳細に設定するには「カスタム設定」を「入」にします。

- 1 **メニュー** を押す  
「設定」→「機能設定」→「画面設定」を選び  
**決定** を押す  
静止画や動画を再生中は、**メニュー** を押し、「今すぐできること」→「画面設定」を選ぶ。

- 2 **▲▼** で「カスタム設定」を選び **決定** を押す

- 3 **▲▼** で「入」を選び **決定** を押す  
「カスタム設定」を「入」にすると以下の4項目の調整ができるようになります。
  - 垂直位置調整
  - 水平位置調整
  - 垂直幅調整
  - 水平幅調整

- 4 **メニュー** を押して元の画面に戻る

調整値を他のすべての入力および放送画面に適用するとき

入力および放送のうちどれか一つを調整すれば、その調整値を他のすべての入力および放送画面に反映することができます。

- 1 **メニュー** を押す  
「設定」→「機能設定」→「画面設定」を選び  
**決定** を押す
- 2 **▲▼** で「カスタム調整値の一括反映」を選び  
**決定** を押す  
確認画面で調整値を確認し、よければ **反映する** を選んで **決定** を押す。

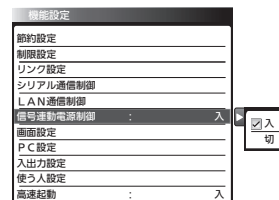
- 3 **メニュー** を押して元の画面に戻る

# 入力信号の有無で電源を入/切する

本機に入力される映像の同期信号の有無により、本機の電源を入/切させることができます。  
本機画面で表示中の外部入力から映像同期信号が検出できなくなってから5秒後にメッセージを表示し、更に10秒後に電源を「切」にします。

対応する外部入力：HDMI1、HDMI2、PC、D端子、ビデオ

- 1 **メニュー** を押す  
「設定」→「機能設定」→「信号連動電源制御」→「入」を選び **決定** を押す  
同時に「高速起動」が「入」に設定されます。



- 2 **メニュー** を押して元の画面に戻る

**気をつけて!**

- この設定を「入」にすると、入力端子に映像信号が入力されていないとリモコンや本体ボタンで電源を入れても数秒後に電源が切れますのでご注意ください。
- レコーダーを接続している場合、録画中に信号が出力される機器もあり、この場合は、録画開始と同時にテレビ本体の電源が入りますので、ご注意ください。
- 機器により、画面に画像が表示されなくても映像信号を出力している場合があります。また、レコーダーを接続している場合、レコーダーの電源が「切」になっていても録画中は映像信号を出力している場合があります。このような場合、電源は自動で「切」になりませんのでご注意ください。



# オンタイマーで自動的に電源を入/切する

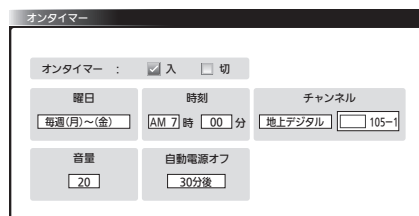


- ・自動的に電源を入/切の動作をさせたい場合は、プレイリストを使用したスケジュール再生 **P.16** による運用を推奨します。
- ・プレイリストを使用したスケジュール再生 **P.16** と、本ページ記載のオンタイマー/自動電源オフ機能は併用できません。スケジュール再生 **P.16** の設定が優先されます。
- ・オンタイマーで設定した時刻・曜日に自動的に電源を入れ、切ることができます。また、電源が入ったときの音量、チャンネルを設定できます。

**準備** デジタル放送を受信するか、別売の時刻保持ユニット (DP-5RTC-A) と接続する。

- 1** **サイネージ** を押し、サイネージ設定画面の「再生方法」が「SDカード再生」になっていることを確認する
- 2** 「入力切換」を押し、「放送」を選ぶ
- 3** **メニュー** を押す  
「テレビ操作」→「オンタイマー」を選び **決定** を押す  
オンタイマー画面が表示されます。
- 4** **左** で「入」を選んで **決定** を押す

各項目が設定できるようになります。



- ▲▼◀▶ で設定したい項目を選び **決定** を押し、
- ▲▼ で設定したい内容を選び **決定** を押す

- 時刻 : 電源を入れる時刻を設定する
- 自動電源オフ : 電源を切る時刻を設定する
- 曜日 : 電源を入/切する曜日を設定する  
毎日、毎週各曜日、毎週(月)~(金)、毎週(金)~(土)以外の設定にしたいときは、プレイリスト再生のスケジュール再生 **P.16** で設定します

**5** **戻る** を押して元の画面に戻る

**6** **サイネージ** を押し、サイネージ設定画面の「再生方法」を「SDカード再生」に戻す  
**設定を反映** で **決定** を押す  
※必ずこの操作を行ってください。画像の自動再生が行われなくなります。

**7** テレビの電源が入り **1** の操作を行う前の状態に戻ります

## お知らせ

- ・時刻による動作をするには時刻情報が必要です。本機はデジタル放送から時刻情報を取得していますのでデジタル放送を受信する必要があります。
- 受信できない場合は、別売の時刻保持ユニット (DP-SRTC-A) を接続することで、時刻設定と時刻保持を行えます。
- 詳しくは販売店またはテクニカルサポートセンター **P.48** へお問い合わせください。

# 焼き付き軽減機能



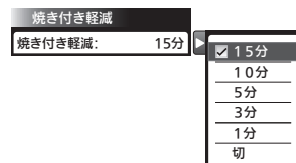
設定時間ごとに、画像を僅かに移動させ液晶パネルの焼き付きを軽減します。有効表示領域が僅かに小さくなります。

- 1 **[Xメニュー]**を押す  
「設定」→「機能設定」→「画面設定」を選び  
**[決定]**を押す  
静止画や動画を再生中は、**[Xメニュー]**を押し、「今すぐできること」→「画面設定」を選ぶ。

- 2 **▲▼**で「焼き付き軽減」→設定時間を選び  
**[決定]**を押す

15分、10分、5分、3分、1分 …… 画面を移動させる間隔を設定します。短いほど焼き付き軽減の効果が高くなりますが画像の移動が気になる場合は設定時間を長くして移動から移動までの間隔を長くします。

切 …… 焼き付き軽減機能を切りにする。



## お知らせ

「切」以外に設定しても、テレビの設定やその他の条件により焼き付きが起きることがあります。焼き付きを完全に防止するものではありません。あらかじめご了承ください。

# カレンダー再生機能を使う

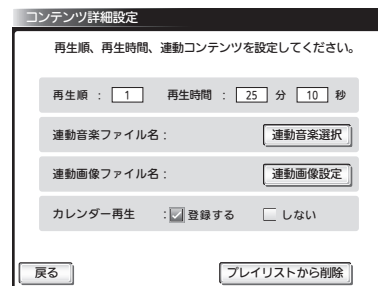
ファイル名の一部だけ変えた複数のコンテンツを登録することによって、日めくりカレンダーのような使いかたができます。  
※本機能を利用する場合は、オプションの時刻保持ユニットが必要です。  
※本機能はプレイリスト再生時のみ有効です。

## 登録方法

- 準備**
- 本機のUSBサービス端子に時刻保持ユニットを接続する。  
※接続および時刻の設定方法は、時刻保持ユニットの「取扱説明書」をご覧ください。
  - カレンダー再生登録用の再生コンテンツを保存したSDカードを入れる。
  - サイネージ設定画面を開き各種再生設定、プレイリスト設定を行う。

## 設定手順

- 1 「プレイリスト編集」画面を表示し、カレンダー再生登録用の再生コンテンツを含むプレイリストを**◀▶**で選ぶ
- 2 **▲▼**でカレンダー再生登録用のコンテンツを選び**[決定]**を押し、「コンテンツ詳細設定」画面を表示する
- 3 「カレンダー再生」の「登録する」にチェックを入れる



- 4 **[戻る]**を選び**[決定]**を押す

• 他のカレンダー再生登録用のコンテンツにも同様の手順を繰り返してください。

## カレンダー再生機能を使う(つづき)

### ファイル名の付けかた

カレンダー再生登録用のコンテンツのファイル名は、「共通名称+年(西暦下2桁)+月(2桁)+日(2桁)+時(24時間表示)+拡張子」にしてください。

- ・最初の共通名称は変更しないでください。
- ・年、月、日、時を共通とする場合は、「xx」にします。

例：「2017日めくりxxxx01xx.jpg」～「2017日めくりxxxx31xx.jpg」の31ファイルをカレンダー再生で登録した場合

1日から31日まで(1ヵ月単位)で1日ごとに再生されるコンテンツが変わります。

## カウントアップ機能を使う

カウントを開始する日を設定すれば、そこから日数を自動でカウントアップし、数字をコンテンツの上に重ねて表示することができます。

※本機能を利用する場合は、オプションのM-Signage認証カードと時刻保持ユニットが必要です。

※本機能はプレイリスト再生時のみ有効です。

### 背景コンテンツの作成

日数カウント表示は静止画または動画コンテンツ、外部入力からなる背景コンテンツの上に、本機が現在時刻から自動的に生成する日付および日数を重ね合わせることによって実現されます。

日付・日数の表示仕様をご確認のうえ背景コンテンツを作成してください。



#### 横置き時の日付・無災害日数の表示仕様

単位：ドット

	大	中	小
日付サイズ	1209(W)×200(H) 年/月/日の間隔：231	866(W)×144(H) 年/月/日の間隔：166	692(W)×115(H) 年/月/日の間隔：132
	初期表示位置(80,320)		
無災害日数サイズ	1512(W)×571(H)	1190(W)×450(H)	756(W)×286(H)
	初期表示位置(250,509)		
表示範囲	1920(W)×1080(H) ※1ドット単位で表示位置指定が可能。		
表示色	白、黒、グレー、青、赤、緑、黄		

※工場出荷時は、日付サイズ「大」、無災害日数サイズ「中」および初期表示位置(250,570)、表示色「黒」となります。

#### 縦置き時の日付・無災害日数の表示仕様

単位：ドット

	大	中	小
日付サイズ	880(W)×146(H) 年/月/日の間隔：168	693(W)×115(H) 年/月/日の間隔：133	552(W)×91(H) 年/月/日の間隔：105
	初期表示位置(42,179)		
無災害日数サイズ	850(W)×321(H)	756(W)×286(H)	642(W)×242(H)
	初期表示位置(100,312)		
表示範囲	1080(W)×1920(H) ※1ドット単位で表示位置指定が可能。		
表示色	白、黒、グレー、青、赤、緑、黄		

※工場出荷時は、日付サイズ「中」、無災害日数サイズ「中」、表示色「黒」となります。

# カウントアップ機能を使う(つづき)

## 設定方法

- 準備**
- 本機のUSBサービス端子に時刻保持ユニットを接続する。  
※接続および時刻の設定方法は、時刻保持ユニットの「取扱説明書」をご覧ください。
  - 背景コンテンツを含む再生コンテンツを保存したM-Signage認証カード(SDHCカード)を入れる。
  - サイネージ設定画面を開き各種再生設定、プレイリスト設定、スケジュール設定を行う。

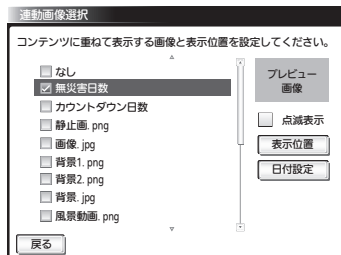
### 設定手順

1 「プレイリスト編集」画面を表示し、背景コンテンツを含むプレイリストを◀▶で選ぶ

2 ▲▼で背景コンテンツを選び決定を押し、「コンテンツ詳細設定」画面を表示する

3 連動画像選択を選び決定を押し、「連動画像選択」画面を表示する

4 「無災害日数」を選び決定を押し、「無災害日数」にチェックを入れる



5 表示位置を選び決定を押し、「表示位置設定」画面を表示する

6 以下の操作により表示設定を行い、完了したら戻るを押す

青 □ : 設定対象(日付/無災害日数/未選択)を切り換える。

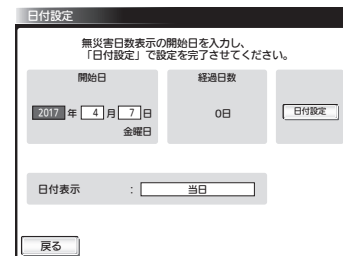
赤 □ : 表示サイズを切り換える。

緑 □ : 表示色を切り換える。

7 日付設定を選び決定を押し、「日付設定」画面を表示する

8 ◀▶で開始日(日数カウントの起算日)の年/月/日の項目を選び決定を押す  
そのあと、▲▼で数値を変更し決定を押す

- 起算日はカウント日数の「0日目」を表し、起算日から1日経過するごとに1日増加します。



9 「経過日数」が正しいことを確認してから日付設定を選び決定を押す

- 開始日の設定がSDカードに書き込まれます。

10 「日付表示」を選び決定を押し、当日/前日/非表示を切り換える

- 本設定は日付表示の内容のみを変更します。当日/前日どちらに設定してもカウント日数は変わりません。

11 戻るを選び決定を押す

# カウントダウン機能を使う

カウントを開始する日を設定すれば、そこから日数を自動でカウントダウンし、数字をコンテンツの上に重ねて表示することができます。

※本機能を利用する場合は、オプションのM-Signage認証カードと時刻保持ユニットが必要です。

※本機能はプレイリスト再生時のみ有効です。

## 背景コンテンツの作成

日数カウント表示は静止画または動画コンテンツ、外部入力からなる背景コンテンツの上に、本機が現在時刻から自動的に生成する日付および日数を重ね合わせることによって実現されます。

日付・日数の表示仕様をご確認のうえ背景コンテンツを作成してください。

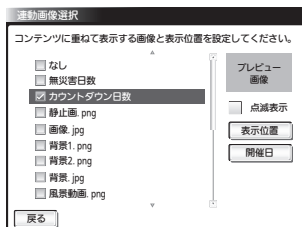
表示仕様については、「カウントアップ機能を使う」をご覧ください。

## 設定方法

- 準備**
- 本機のUSBサービス端子に時刻保持ユニットを接続する。  
※接続および時刻の設定方法は、時刻保持ユニットの「取扱説明書」をご覧ください。
  - 背景コンテンツを含む再生コンテンツを保存したM-Signage認証カード(SDHCカード)を入れる。
  - サイネージ設定画面を開き各種再生設定、プレイリスト設定、スケジュール設定を行う。

### 設定手順

- 「プレイリスト編集」画面を表示し、背景コンテンツを含むプレイリストを◀▶で選ぶ
- ▲▼で背景コンテンツを選び決定を押し、「コンテンツ詳細設定」画面を表示する
- 連動画像選択を選び決定を押し、「連動画像選択」画面を表示する
- 「カウントダウン日数」を選び決定を押し、「カウントダウン日数」にチェックを入れる



- 表示位置を選び決定を押し、「表示位置設定」画面を表示する

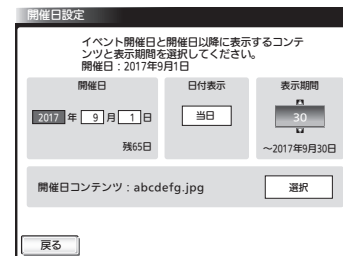
- 以下の操作により表示設定を行い、完了したら戻るを押す

- 青: 設定対象(日付/カウントダウン日数/未選択)を切り換える。
- 赤: 表示サイズを切り換える。
- 緑: 表示色を切り換える。

- 開催日を選び決定を押し、「開催日設定」画面を表示する

- ◀▶で開催日の年/月/日の項目を選び

- 決定を押す
- そのあと、▲▼で数値を変更し
- 決定を押す



- 「日付表示」を選び決定を押し、当日/非表示を切り換える

- 「表示期間」を選び決定を押し、開催日以降の表示期間を設定する

- 「開催日コンテンツ」を選び決定を押し、開催日以降に表示するコンテンツを設定する

- 戻るを選び決定を押す

# インタラクティブ機能を使う

USB接続可能なボタンにプレイリストを設定しておけば、ボタンを押すだけで希望のプレイリストに切り換えるインタラクティブ機能(USB機器によるプレイリスト切替機能)を利用することができます

※本機能を利用する場合は、オプションのM-Signage認証カードと時刻保持ユニット、USBボタンなどの機器が必要です。

※再生方法が「蓄積型再生」の場合は、本機能を利用できません。

## 対応している機器

USB HID (Human Interface Device) クラスに準拠した以下の機器。※1

- ・ USB ボタン ※2
- ・ USB ゲームパッド ※3
- ・ USB キーボード ※3
- ・ USB バーコードリーダー ※4

※1 すべてのUSB 機器との接続を保証するものではありません。

※2 オプションでインタラクティブ機能対応ボタンを用意しています。

※3 一部対応していない操作ボタンがあります。

※4 扱える文字列は数字および大文字アルファベットのみです。

## 設定方法

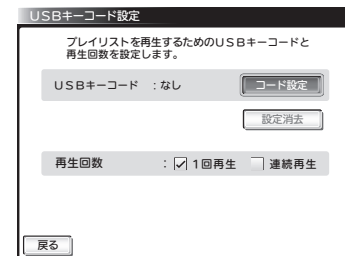
- 準備**
- ・ 本機のUSBサービス端子に本機に対応したUSB機器を接続する。  
※USBメモリによるコンテンツ更新をご利用される場合や時刻保持ユニットを接続する場合は、USBハブ(市販品)をご利用ください。
  - ・ 再生したいコンテンツを保存したM-Signage認証カード(SDHCカード)を入れる。
  - ・ サイネージ設定画面を開き各種再生設定を行う。
  - ・ インタラクティブ機能を利用して切り換えを行うプレイリストを作成する。

### 設定手順

- 1 「プレイリスト編集」画面を表示し、設定したいプレイリストを ◀▶ で選ぶ
- 2 プレイリスト共通設定の **設定編集** を選び **決定** を押し「プレイリスト共通設定」画面を表示する
- 3 **コード設定** を選び **決定** を押し、「USB キーコード設定」画面を表示する

## 4 **コード設定** を選び **決定** を押す

- ・ 画面がUSBキーコード入力待ち状態になります。



## 5 プレイリストに割り当てるUSB機器のボタンを1個押す

(バーコードリーダーの場合はバーコードを読み取る)

- ・ 読み込んだ文字列やUSBキーコードが表示されます。
- ・ 別のボタンを割り当てたい場合は、再度USB機器の別のボタンを押してください。  
設定可能な文字列数は最大20までです。

## 6 **戻る** を選び **決定** を押す

## 7 再生回数(1回再生または連続再生)を選び **決定** を押す

- ・ 1回再生の場合  
USBキーコードに割り当てられたプレイリストの再生後、「再生コンテンツ」に設定されたプレイリストに戻ります。スケジュール再生の場合は、スケジュール設定されたプレイリストに戻ります。
- ・ 連続再生の場合  
USBキーコードに割り当てられたプレイリストを連続再生します。

## 8 各画面の **戻る** を選び **決定** を押し、「プレイリスト編集」画面に戻る

- ・ 他のプレイリストにも割り当てたい場合は、同様の手順を繰り返してください。
- ・ コード(ボタン)は、最大16個まで設定できます。

### コードの設定を消去するには

- 1 「設定手順」の1～3を行い、「USBキーコード設定」画面を表示する  
・ 手順1のときに、設定したいプレイリストを選びます。
- 2 **設定消去** を選び **決定** を押す
- 3 確認画面で **消去する** を選び **決定** を押す

## インタラクティブ機能を使う(つづき)

再生ログを表示・出力・消去するには

インタラクティブ機能を利用可能なときは、USBキーコードに割り当てられたプレイリストの再生ログを表示・出力・消去することができます。

再生ログを表示するとき

- 1 「プレイリスト編集」画面を表示し、を押して「再生ログ」画面を表示する

- 2 ◀▶で表示したいログの

種類(日ごと、週ごと、月ごと)を選ぶ

・コード(①~⑱)ごとのプレイリストの再生回数が表示されます。



- 3 確認が終わったら、を選びを押す

再生ログを出力するとき

 本機のUSBサービス端子にUSBメモリを接続する。

- 1 「再生ログを表示するとき」の手順2で「出力 / 消去」を選ぶ

- 2 「USBメモリへの再生ログ出力」を選びを押す

・CSV形式で以下の情報が出力されます。  
再生開始日時(年/月/日/時/分/秒)、再生コンテンツ(プレイリスト番号)  
・出力完了後、本機からUSBメモリを取り外してください。

再生ログを消去するとき


- 1 「再生ログを表示するとき」の手順2で「出力 / 消去」を選ぶ

- 2 「再生ログ消去」を選びを押す



- 3 確認画面で  を選びを押す

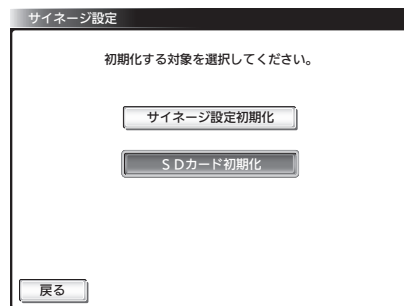
## SDカードの初期化


本機から取り出すことなくSDカードの初期化ができます。  
ファイルシステムは「FAT32」です。


- 1  を押しサインージ設定画面を表示する

- 2 ▲▼◀▶で  を選びを押す

- 3 「初期化対象選択画面」が表示されるので▼で  を選んでを押す



- 4 確認画面が表示されるので、初期化してよければ◀▶で「初期化する」を選んでを押す

- 5 初期化完了の画面が表示されたらを押す  
「初期化対象選択画面」に戻ります。

# お手入れのしかた

## 液晶パネル

液晶画面には、映り込みを抑えたり、映像を見やすくしたりするために特殊な表面処理を施しています。誤ったお手入れをした場合、画面を損傷する原因にもなりますので次のことを必ずお守りください。

- 表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭きとってください。また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。ホコリのついた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面が剥がれることがあります。
  - 画面の清掃には、水、イソプロピルアルコール、ヘキサンをご使用ください。研磨剤が入った洗剤は、表面を傷つけるので使用しないでください。アセトンなどのケトン系、エチルアルコール、トルエン、エチル酸、塩化メチルは、画面に永久的な損傷を起こす可能性がありますので、クリーナーの成分には十分ご注意ください。酸やアルカリもお避けください。
  - 水滴や溶剤などがかかった場合はすぐに拭きとってください。そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
  - 清掃目的以外（静電気防止など）でも画面に溶剤等を使用されますと画面の光沢ムラなどになることがあります。ムラなどになった場合は、水ですぐに拭き取ってください。
- ※表面は傷つきやすいので硬いもので押しついたりこすったり、たいたいたりしないように、取り扱いには十分注意してください。
- ※画面についたキズは修理できません。
- ※手指で触れる、などにより表面が汚れることのないように十分にご注意ください。

## キャビネット

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因になります。【化学ぞうきんご使用の際はその注意書に従ってください】



- 柔らかい布で軽く拭きとってください。特にパネルのまわりは傷つきやすいので、メガネ拭きなどの柔らかい布で拭きとってください。
- 汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り拭いてください。
- 水滴などが液晶パネルの表面を伝ってテレビ内部に浸入すると故障の原因になります。



## 内部

掃除は、販売店に依頼してください。

- 1年に一度くらいを目安にしてください。内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。

## 電源プラグ

- ほこりなどは定期的にとってください。電源プラグにほこりがついたりコンセントの差し込みが不完全な場合は、火災の原因になります。

# SDカードを取り出すときは

SDカードを取り出すときは、必ず「電源オン状態」でリモコンのサイネージボタンを押し、再生設定を「切」にしてから行ってください。また、SDカード盗難防止カバーを取り外してください。

## お願い!

- 連続使用は製品の寿命を著しく低下させる恐れがあります。一日数時間は電源を切ることをおすすめします。
- 長時間連続使用された場合、保証期間内であっても有償修理となることがあります。



## 困ったときは・・・

### ■ 静止画、動画を再生できないとき・・・

SDカードの接点部の確認をお願いします。

ご使用環境によっては接点部の汚れ等により正常に動作しない場合があります。

### ■ 再生できない静止画がある・・・

静止画データの形式、カラーモードは本機の再生要件 **P.23** にありますか。

印刷用データは通常カラーモードがCMYKになっているので転用する場合はRGBモードへの変換が必要です。

グレースケールもRGBモードへの変換をおすすめします。

### ■ 静止画の表示が遅い・・・

ファイルサイズが大きいデータは処理に時間がかかります。

印刷用データは高解像度で画像サイズ、ファイルサイズが大きい場合があります。

推奨サイズ **P.23** への変換をおすすめします。

### ■ エラーメッセージが繰り返し表示されるとき・・・

・本体電源ボタンで電源を切/入する

・リモコンで電源を切り、1分程度たってから再度電源を入れる

・コンセントから電源プラグを抜き差しする

のいずれかを行い、もう一度操作をやり直してください。

〈カンタンサイネージの購入相談、機能・コンテンツ制作のご相談、故障かな?と思ったら〉

**テクニカルサポートセンター**

**0120-324-312**

携帯電話・PHS・IP電話は

**075-353-0663** (有料)

●受付時間/9:00~17:00

●定休日/土・日・祝および指定休日除く